

県立高校教育振興会議での中高一貫教育校に関する主な意見

積極的な意見	慎重な意見	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・社会を変革するリーダーの育成には、全人格的な教育が必要であり、積極的に検討すべき。 ・探究科学科での学びを中学段階から学ぶ富山県独自の中高一貫校を模索すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全県が通学対象区域となる県立中学校を作ると、市町村立中学校の学級編制等に影響が出るので慎重に考えるべき。 ・全国的に、中山間地域や東京以外では設置が進んでおらず、ニーズが乏しいのではないか。 ・小学校でリーダーとして活躍している子どもたちが中高一貫校に行くと、近隣の中学校のレベル低下を危惧する。 ・中学校段階では、郷土愛を育むことが大事であり、地元で学んだ方が効果が大きい。 ・中高一貫校設置により発生する教育上の問題を確認しつつ議論すべき。 ・少子化が進む中で、中高一貫校が他の公立中学校に与える影響を十分に配慮すべき。 ・県内3校の探究的な学科の取組みをより充実することにより力を入れた方がよい。 ・生徒が減る中、中高一貫校が子どもを吸収すると、市町村の義務教育はどうなるのか。慎重に検討せざるを得ない。 ・小学校段階の受験勉強はネガティブな影響が大きく、生徒や保護者の意識が高まらない現段階では賛成できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校再編を行った上で、次の段階として、中高一貫校について議論すべき。 ・リーダー育成の視点は必要だが、中高一貫校の議論は時期尚早ではないか。 ・リーダーの人材育成は素晴らしいことであるが、生徒が減少している今の時期に新設はどうかと思う。 ・メリットについて検証する必要がある、中高一貫校の設置は時期尚早でないか。 ・中高一貫校を再編と同時期に設置するのは困難であり、継続して検討していくことが妥当だと思う。 ・連携型の中高一貫校はあまり意味がないと思う。